

環境経営レポート



活動期間：2023年8月～2024年7月

作成日：2024年10月1日



認証番号 0003789

Bunkodo PRINTING CO.,LTD.

事業概要

1. 事業所及び代表者

文光堂印刷 株式会社

代表取締役 工藤 政則

2. 所在地

静岡県沼津市西間門 68-1

3. 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 工藤 慎也 TEL 055-926-2800

4. 事業内容

1) 一般印刷物の企画・作成

・名刺、封筒、伝票類からチラシ、パンフレット、冊子等あらゆる印刷物のご要望にお応えいたします。

2) マーケティングリサーチ

・売上向上、商品開発のための調査分析及び企画・提案をし、売上向上のお手伝いをいたします。

3) デリバリー業務の完全代行

・企画、印刷からご指定先への“発送業務”を代行し、経費節減にご協力いたします。

4) 販売促進の企画提案

・売上向上に結びつく企業案内、商品カタログの企画提案をします。

5) 顧客満足度調査

・“お客様の声”を収集分析し、売上向上のお手伝いをします。

ISO9001 認定企業様は非常に有効です。

5. 事業規模

従業員 20 人

床面積 1062.74 m²

認証・登録の対象組織・活動

登録組織名 文光堂印刷株式会社

活動 印刷業

認証・登録範囲 全組織・全従業員

環境経営方針

環境理念

私たち、文光堂印刷株式会社は社員一人ひとりが地球環境や地域の環境保全を重視し、事業活動と環境との調和を図り、限り有る資源の有効利用と環境汚染防止に取り組んでいきます。

環境方針

当社は一般印刷業として紙という資源を扱う事業の性質上、この事業活動が環境に与える負荷が大きい事を理解し、環境への取組みを最重要課題として環境マネジメントシステムを運用し、持続的な改善に努め、環境経営の継続的な改善に取り組んでいきます。

1. 環境関連法規制を遵守し、定期チェックを行います。
2. 環境目標を定め、定期的に見直し、改善に努めます。
3. 環境負荷を削減するため、次の活動を推進します。
 - ① 資源の有効利用のため分別リサイクル活動の推進と廃棄物の削減をします。
 - ② 地球温暖化防止のため省エネルギーの推進や、使用電力量、化石燃料の低減・抑制による、二酸化炭素の削減を目指します。
 - ③ グリーン購入、販売を促進します。
 - ④ 水資源を大切に思い節水に心掛けます。
 - ⑤ 地域との共生のため地球環境活動に積極的に参加します。
 - ⑥ 化学物質の適正管理をし、健康への配慮をします。また、利用量削減にも努めます。
4. この環境方針は全従業員に周知します

制定年月日 平成 23 年 10 月 1 日

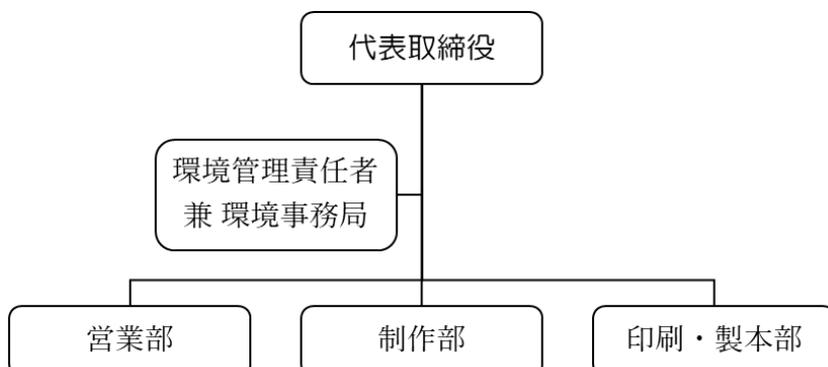
改定年月日 2019 年 10 月 1 日

文光堂印刷株式会社

代表取締役 工藤 政則

実施体制

2022年7月



代表取締役	<ul style="list-style-type: none"> • 環境経営システムに関する総責任者 • 環境経営システムの必要な資源（人・設備・費用等）の準備 • 環境管理責任者を任命 • 経営における課題とチャンスの明確化 • 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 • 環境経営目標・環境経営計画書を承認 • 代表者による全体の評価と見直しを実施 • 環境経営レポートの承認
環境管理責任者 環境管理事務局	<ul style="list-style-type: none"> • 環境経営システムの構築、実施、管理 • 環境経営目標・環境経営計画書を確認 • 環境経営計画の実施結果を代表者へ報告 • 環境経営レポートの作成・確認 • 環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 • 環境関連法規制等取りまとめ表の作成、遵守評価の実施 • 環境関連の外部コミュニケーションの窓口
部門長	<ul style="list-style-type: none"> • 自部門における環境経営システムの実施 • 自部門における環境経営方針の周知 • 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 • 自部門に関連する環境経営の実施及び達成状況の報告 • 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> • 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚

環境関連法規制等への違反・訴訟の有無

1. 対象法規制等と遵守の状況

1-1 最新版の確認は、EA21のHP等・審査人への問い合わせで確認している。 2023.9

1-2 当会社に適用される環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

区分	法律名	要求事項の内容	担当	遵守状況
順守	静岡県生活環境の保全等に関する条例(騒音関係)	3.75kw以上の空気圧縮機は未使用。 工場の壁は、防音の設備をしている。	印刷部	非該当
	同上の県条例(振動関係)	2.2kw以上の印刷機(原動機使用)の振動対策	印刷部	非該当
	廃掃法(廃棄物の処理及び清掃に関する法律)	産業廃棄物業者との委託契約 マニフェスト5年以上保管	印刷部	該当なし
		知事への報告		該当なし
	沼津市一般廃棄物処理基本計画	沼津市の定められた分別での廃棄	全部署	○
	浄化槽法	年4回の点検	事務	○
		年1回の清掃	事務	○
		水質検査年1回		11月に実施
	消防法	① 自動火災報知の作動確認 消火器の設置点検	全部署	○
		② 火気溶剤保管場所の点検	印刷部	○
	PRTR法	化学物質の全排出量の把握	印刷・制作	非該当
	自動車リサイクル法	使用済自動車の再資源化	営業部	該当なし
	家電リサイクル法	使用済家電の再資源化	事務	該当なし
フロン排出抑制法	空調機(定期点検 3年間保管) 簡易点検 3カ月毎	全部署	○	
準用	環境基本法	社員教育の実施	全部署	○
	温対法	CO2の排出量の数値管理	事務	○
	循環型社会形成推進基本法	3Rの徹底	全部署	○
	労働安全衛生法	①労働災害の防止 ②年1回定期検診	全部署	定期検診 年度内に実施
		SDSの取り寄せ・保管	印刷部	○
	グリーン購入法	エコマーク入りの印刷物の販売	印刷部	実施
エコマーク入りの物を購入する		事務	実施	

順守は○

確認者：環境管理責任者 工藤 慎也 2024年7月27日

2. 違反・訴訟等の有無

- ・環境関連法規制等において、違反・訴訟はありませんでした。
- ・過去10年間、近隣からの苦情はありませんでした。

環境経営目標

基準年度を2021.8～2022.7に設定し、それから、年間1%削減3年間で3%削減するように目標を定める。

項目		年度	2021.8～2022.7	2022.8～2023.7	2023.8～2024.7	2024.8～2025.7
		基準年度	目標(-1%)	目標(-2%)	目標(-3%)	
電力	kWh		94,691	93,744	92,797	91,850
	CO2(Kg)		42,706	42,279	41,433	40,190
	%		61.0	60.6	60.4	59.9
ガソリン	L		11,685	11,568	11,451	11,334
	CO2(Kg)		27,109	26,838	26,567	26,296
	%		38.8	38.5	38.7	39.2
軽油	L		—	184	180	175
	CO2(Kg)		—	475	465	451
	%			0.7	0.7	0.7
ガス(LPG)	m ³		24	23	23	23
	CO2(Kg)		144	143	141	140
	%		0.2	0.2	0.2	0.2
CO2排出量合計 kg-CO2)			69,959	69,734	68,607	67,077
水使用量	m ³		236	234	231	229
一般廃棄物	t		0.141	0.140	0.138	0.137
産業廃棄物	t		0	0	0	0

※電力の排出係数は 東京電力EP 2021年度(4.51Kg-CO2/Kwh)で、再設定とした。

※軽油・ガス(LPG)は、割合が1%未満。集計・削減の計画実施はするが、評価はしない。

※水の使用削減は、数値目標の評価をしない。活動が定着しているので、計画と、事故の確認をする。

※グリーン購入・販売は、目標数値を設けず活動(計画)とする。

※化学物質は代替品も少なく仕事量の変動も大きいので、目標数値は設けず管理(計画)を行う。

※産業廃棄物(紙くず類・原版)は、有価で引取りをしているので、集計・目標とはしない。

環境経営目標の実績及び評価

項目		年度	2021.8～2022.7	2023.8～2024.7		差異	達成状況	CO2 割合
		基準年度	目標(-2%)	実績				
電力	kWh		94,691	92,797	103,856	11,059	×	
	CO2(Kg)		42,706	41,433	46,839	5,406	×	67.6%
ガソリン	L		11,685	11,568	9,351	-2,217	○	
	CO2(Kg)		27,110	26,838	22,678	-4,160	○	31.3%

軽油	L	—	184	215	31	—	
	CO2 (Kg)		475	717	243	—	0.8%
ガス (LPG)	m ³	23.7	23.5	27.9	4.4	—	
	CO2 (Kg)	147	146	185	39.4	—	0.3%
CO2排出量合計 (kg-CO2)		69,959	68,607	69,274	667	×	100%
水使用量	m ³	236	231	239	8	—	
一般廃棄物	t	0.141	0.140	0.160	0.02	×	
産業廃棄物	t	0	0	0	0	○	

実績の是正処置（発生原因と今後の処置）

- ① 2022年1月より新印刷機を導入したが、受注量が増加したため、電力は増大した。
生産を計画的にして、使用量を削減する。
- ② 営業車は増えたが、エコ運転の励行で、ガソリン・軽油の合計した二酸化炭素排出量は減少した。
- ③ ガス (LPG) ・水の削減活動は定着している。一時的・変動の範囲内である。削減活動を周知する。

環境経営目標 次年度の計画

項目		年度	2021.8~2022.7	2022.8~2023.7	2023.8~2024.7	2024.8~2025.7
		基準年度	目標 (-1%)	目標 (-2%)	目標 (-3%)	
電力	kWh		94,691	93,744	92,797	91,850
	CO2 (Kg)		42,706	42,279	41,433	41,190
	%		61.0	60.6	60.4	59.9
ガソリン	L		11,685	11,568	11,451	11,334
	CO2 (Kg)		27,109	26,838	26,567	26,296
	%		38.8	38.5	38.7	39.2
軽油	L		—	184	182	175
	CO2 (Kg)			475	465	451
	%			0.7	0.7	0.7
ガス (LPG)	m ³		24	23	23	23
	CO2 (Kg)		144	143	141	140
CO2排出量合計 (kg-CO2)			69,959	69,734	68,607	67,077
水使用量	m ³		236	234	231	229
一般廃棄物	t		0.141	0.140	0.138	0.137
産業廃棄物	t		0	0	0	0

※電力の排出係数は 東京電力 EP (A0269) : 令和3年度 (2021年) 0.451 Kg-co2 を用いる。

※産業廃棄物は分別・リサイクル・有価処理を基本とする。

※長期計画は見直さず、来年度実績で基準年度を変更する。

環境経営計画と評価

年間を通じての活動

電力による二酸化炭素排出量の削減 (印刷・製本部)			
取組計画	達成状況	評価	次年度の取組
・不用照明の消灯	◎	残業時間が減ってきて、スキルアップがみられた。	今後も継続して行う。業務の効率化は、仕事量と残業時間を考え調整する。
・業務の効率化を図る	○		
・エアコンのフィルター清掃	○		
自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減 (営業部)			
取組計画	達成状況	評価	次年度の取組
・急加速、急停止の抑制	○	営業での取り組みなので、突発的な顧客の要望・トラブル対応等で、計画的に実施ができない。	今後も継続して行う。相手の要望・目的を明確にして、取組をすすめる。
・営業ルートの見直し	△		
水使用量 (印刷・製本部)			
取組計画	達成状況	評価	次年度の取組
・手洗い水量適正化	○	無駄な使用はあまりない。しっかり取組できている。	今後も継続して行う。
・機材の洗浄での削減	○		
一般廃棄物の削減 (業務)			
取組計画	達成状況	評価	次年度の取組
・コピー用紙の両面化	○	各体制のなかで計画が実施されている	今後も継続して行う。
・ペーパーレス化	△		
産業廃棄物の削減 (印刷・製本部)			
取組計画	達成状況	評価	次年度の取組
・再生利用(紙・アルミ版)ができる物はすべて再生利用する	◎	各体制のなかで計画が実施されている	今後も継続して行う。
・SDSを取得し、適切に管理を行う	◎		
グリーン購入・製品への環境配慮 (営業部)			
取組計画	達成状況	評価	次年度の取組
・事務用品のグリーン購入促進	△	発注の際に気をつけている。金額でまよう時がある。	今後も継続して行う。やる意味を考慮して、実施する。
・顧客への再生資源の使用促進	○		
・紙の包み紙を再利用	◎		
・ベジタブルオイルインキの使用提案	◎		

環境コミュニケーションの実施 (業務)			
取組計画	達成状況	評価	次年度の取組
会社周辺の掃除	◎	4回/年	今後も継続して行う。
沼津市名勝の千本浜公園の清掃	○	1回/年	
J3 アスロクラロのスポンサー	○		

◎よくできた ○まあまよかった △あまりできなかった ×全くできなかった

環境上の緊急事態への準備及び対応

	種 類	防 止 策
火災	漏電	専門業者が定期的に点検を行う 又、月に一度コンセント回りの清掃を重点的に行う
	引火性の高い廃棄物	廃棄物を指定し、目で見えるようにして、火気を近づけないようにする
	タバコ	指定場所以外は、すべて禁煙
土壌・水質	車両の油漏出	専門業者による定期的な点検を行う
汚染	印刷機の油漏出	月に一度機械のメンテナンスを行い、点検を行う

緊急事態での教育、訓練、及び対応策

- ・油漏出時、その車両使用者及び、印刷機オペレーターは、速やかにウエス等で、油漏出を最小限度に防ぐ事、その後、環境管理責任者へ連絡を行い、その後の対処を行う事
- ・火災時、速やかに避難・消火活動が行われるように訓練する。又緊急連絡網の確認を行う。
消防署・自治会に連絡する。

【実施内容】

2024年7月19日に、各部門の責任者6人をあつめ、検証した結果問題なかった。

又、月1回全体朝礼での、エコアクション21の周知、各部門での問題点、取組の確認を行っている。

代表者による評価及び見直し・指示

「評価」

環境への問題も社員一人一人取り組み、持続可能でより良い社会を実現するため、SDGSを会社全体で考え、7「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」 13「気候変動に具体的な対策」など、特に地球温暖化による影響を抑えるため、二酸化炭素などの温室効果ガスの排出量を出来るだけ少なくするよう取り組んできました。10年以上使用していたトラックや営業車は、新車に買い替えたことで、エネルギー効率が大幅に上昇しました。仕事量の増大による電気使用量の増加がありましたが、全体で、二酸化炭素排出量は、ほぼ目標値(-2%)に収まりました。

「見直し・指示」

- ・環境方針

変更なし。

- ・環境経営目標/環境経営計画

「目標」 電力会社を変更した目標値を来年も維持すること。

「計画」 定着しているアイテムと、新しい視点でのものを入れて検討すること。

- ・実施体制

変更なし。

今後も持続可能な社会を実現するために様々な取り組みを行います。

2023年10月2日

代表取締役 工藤 政則